

## 「施策」総括票

施策展開	1-(4)-ウ	文化活動を支える基盤の形成	
施策	②社会全体で文化活動を支える基盤の構築		50頁
対応する 主な課題	<p>○県内には、伝統芸能の保有者やアーティストが活躍できる場が少なく、その力が生かしきれていないなど、芸術文化創造活動を支える仕組みが十分とはいえない状況にある。</p> <p>○地域の文化は、文化関係団体をはじめ、県民、NPO・ボランティア、企業など多様な主体の参画により支えられ、発展していくことから、文化の保全・継承・発展に対する県民の関心や意識を高め、沖縄社会全体で文化活動を支える環境を構築することが求められる。</p>		
関係部等	文化観光スポーツ部		

### I 主な取組の推進状況 (Plan・Do)

(単位:千円)

平成24年度				
	主な取組	決算見込額	推進状況	活動概要
1	文化芸術振興条例(仮称)の制定	-	順調	<p>○琉球舞踊等の団体を3法人立ち上げ、文化活動基盤の強化を図った。また組踊りや三線をはじめとする沖縄の伝統文化を発信する事業も採択し、普及に取り組んだ。平成24年度は、執行に着手したのが、8月と遅かったため、関係団体への事業内容の理解及び周知が足りず、採択条件を満たす団体が21件に留まり、計画値30件を下回ったことから、やや遅れとなった。(2)</p> <p>○文化の専門的知識、経験を有する文化専門員を3名採用して(公財)沖縄県文化振興会に配置し、文化施策の推進に取り組んだ。(3)</p>
2	沖縄文化活性化・創造発信支援事業	76,661	やや遅れ	
3	沖縄県文化振興会への支援と連携(沖縄県文化振興会運営費)	16,571	順調	
4	文化関係機関の連携・機能強化	250	順調	

### II 成果指標の達成状況 (Do)

#### (1) 成果指標

	成果指標名	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
1	県文化協会加入率	63.4% (23年)	63.4% (24年)	75.6%	0.0ポイント	-
	状況説明	現状値は改善していないので、今後、各取組等により、加入率を上げる努力を続ける必要がある。				

様式2(施策)

成果指標名		基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
2	県が支援した文化芸術関連イベントの来場者数	149,527人 (23年度)	344,191人 (24年度)	174,000人	194,664人	-
	状況説明	平成24年度は復帰40周年と銘打ったイベントが多く開催されたことにより、改善幅が大きくなった。				

(2)参考データ

参考データ名	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
-	-	-	-	-	-

Ⅲ 内部要因の分析 (Check)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄文化活性化・創造発信支援事業を円滑に推進するには、広報活動を強化し事業の周知を図りながら、文化団体等に当事業の理解を深めてもらう必要がある。</li> <li>・文化協会への加入率を向上させるため、県文化協会の事業内容を紹介しながら、各市町村との協働が必要である。</li> </ul>
---

Ⅳ 外部環境の分析 (Check)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄文化活性化・創造発信支援事業の実施(申請時含む)の際に、文化関係団体の事務処理能力に格差がある。</li> <li>・文化事業を効果的に行うには、文化に関する知識、経験等が必要であり、文化振興会に配置した文化専門員の効率的な事務執行等、文化事業の強化が必要である。</li> </ul>
---

Ⅴ 施策の推進戦略案 (Action)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化団体等に対する沖縄文化活性化・創造発信支援事業の周知については、マスメディア及び関係団体への広報を通じて事業内容を周知し、事業内容の浸透を図るほか、公募の際に、説明会を実施し、理解を深めてもらう。</li> <li>・沖縄社会全体で文化活動を支える環境を構築するため、各市町村と協働し、県文化協会の事業を各地で行い、PRするとともに、各市町村文化協会において、県文化協会への加入を促進する。</li> <li>・文化関係団体の事務処理能力向上のため、各専門家によるハンズオン支援を行う。</li> <li>・文化事業強化のため、文化振興会と連携し、文化振興会と連携した事業展開を行い、文化専門員の効率的な事務執行を促すとともに、文化振興会の組織の強化に努める。</li> </ul>
---